

練習問題 問題編

問題 1

つるとかめが合わせて 12 いて、足の合計本数は 30 本です。かめは何匹いますか。

問題 2

かずたか君は 1000 円札を持って文房具屋さんに行き、一本 60 円のえんぴつと一本 160 円のシャープペンシルを合わせて 10 本買いました。かずたか君はえんぴつを何本買いましたか。ただし、お釣りは 100 円でした。

問題 3

大きい水そうと小さい水そうが合わせて 20 個あります。この水そう全てに、蛇口を使って水を入れたところ、4 時間 22 分かかりました。小さい水そう 1 個に水を入れるのに 8 分、大きい水そうに水を入れるのに 25 分かかるとすると、大きい水そうと小さい水そうはそれぞれ何個ありますか。

練習問題 解説編

問題 1

【解答】 3 匹

【解説】 全部つるだった時を考えると、あしの数は $2 \times 12 = 24$ 本になるはずですが、これは実際の本数より $30 - 24 = 6$ 本少ないです。なので、 $6 \div (4 - 2) = \underline{3 \text{ 匹}}$ かめがいると分かります。

問題 2

【解答】 7 本

【解説】 かずたか君が全てえんぴつを買っていたとすると、 $60 \times 10 = 600$ 円になります。しかし実際は $1000 - 100 = 900$ 円使っているので、もう $900 - 600 = 300$ 円を使ったはずです。

えんぴつの代わりにシャープペンシルを一本買っていたとすると、もう $160 - 60 = 100$ 円使うことになるので、かずたか君は $300 \div 100 = 3$ 本のシャープペンシルを買っていたことが分かります。

よって、かずたか君はえんぴつを $10 - 3 = \underline{7 \text{ 本}}$ 買ったと分かります。

問題 3

【解答】 大きい水そうが 6 個、小さい水そうが 14 個

【解説】 あったのが全て小さい水そうだったとすると、水を入れるのに $8 \times 20 = 160$ 分かかります。実際は 4 時間 22 分 = 262 分かかっているので、もう $262 - 160 = 102$ 分かかりました。

小さい水そうが一つ大きい水そうだったとすると、 $25 - 8 = 17$ 分余計にかかるので、 $102 \div 17 = \underline{6 \text{ 個}}$ 大きい水そうがあったと分かります。

よって小さい水そうは $20 - 6 = \underline{14 \text{ 個}}$ あったと分かりました。